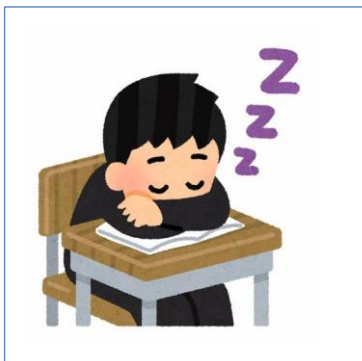


## ～【居眠り退散!】～

7月に入りました。梅雨明けはまだですが、空の青さがいよいよ増して、完全に夏の色になってきました。あと3週間で夏休みです。あつという間に夏休みです。

さて中体連が終わり、1週間が過ぎようとしています。保護者の皆様、いかがでしょうか。特に3年生の子どもさんは気持ちと生活リズムの切り替えがうまくいっていますでしょうか。部活がないから時間を持て余して、親のいうことを聞かず、遅くまでスマホをいじっているようでしたら、ためらうことなく解約をお勧めします。ブツブツ文句を言おうものなら、誰がお金を払っているのか、やさしく論じてあげてください。



中体連後の学校、学級の雰囲気作りはとても大切です。と思いながら授業の様子を見て回ると、心なしか、授業中に居眠りをする生徒の数が増えてきたように思います。それでは3年生の部活生の居眠りが多いのか、ということでもなさそうです。学年、部活、あまり関係ないようです。よいことか悪いことか分かりませんが、全学年まんべんなく居眠りする生徒がいます。眠さをこらえて、コクン、コクンとする生徒もいます。午後の授業で多いようですが、まあこれはこれで仕方ありません。眠さをこらえて、一生懸命授業に参加しようとする意志が見えますから。

ところが中には堂々(?)と机に伏せて「爆睡」状態の生徒を見かけます。もちろん授業する先生は起きるように指導するのですが、それでも頑固に起きないのでしょう。

授業に対してやる気を出せない原因はいくつか考えられます。

まず、授業内容が簡単すぎて、教科書をチラッと見るだけで理解し、時間を持て余す場合。ただこういう生徒は、同時に「寝ることは授業している先生に対して失礼なことである。」と判断し、居眠り

保護者の皆様へ。交通マナーが悪いと地域の方からご指摘の電話をいただきました。道路に広がって自転車を運転しているから、危なくて仕方ないというお怒りの電話でした。学校でも集会を開き指導しました。ご家庭でもぜひご指導をお願いします。人の命は脆く、少しの事故で失われる時もあります。尊い命を大切にしたいと思います。

することはまずないでしょう。そんな生徒は私も見たことがありません。

次に、分かりたいけど、授業が分かりにくいと思う時。これに対しては、先生方は毎日授業や教材の準備で遅くまで残業しています。その日の授業のどこが分かりにくかったか、各教科の先生に申し出れば、懇切丁寧に教えてくれます。

そして授業内容が難しすぎる時。これに関しては少々の期間が必要となります。難しすぎるということは、それを理解するために必要な基礎学力が不足しているということです。ならば、どこで分からなくなったのか、丁寧に確認し、そこから復習していく必要があります。確認する範囲は小学校の学習内容からです。特に「読み書きそろばん」つまり国語と算数が全教科の基本中の基本です。漢字は?読み書きは?算数の計算は?九九は言えるか、割り算はできるか、約分、通分はできるか、小数の計算は?とチェックし、引っかかったところから復習していかねばなりません。

「起きなさい。」の一言で解決するほど授業中の居眠りは単純ではありません。(夜遅くまでスマホをして睡眠不足に陥っている場合を除いて。)

度重なる指導にもかかわらず居眠り状態が解消できない時は、その原因を調べ、学力が明らかに不足していると判断した場合は、例えば夏休みの期間に補習を行うこともあるかもしれません。保護者の皆様におかれましては、どうかご理解いただき、子どもさんの背中を押してほしいと思います。

中学生の今ならとりかえしのつく問題も、彼らが高校、社会人となるにつれて、どうにもできなくなる問題となっていきます。今ならどうにかなるなら、私たちは精一杯手伝いたいと思います。よろしくお願いします。

## ～【なぜこんな簡単なことが】～

最近、人の容姿等、本人には全く責任のないことで悪口を言い、その人の心を傷つけてしまったという出来事が起きているようです。仲の良い友だち同士で冗談が過ぎてたまにこうしたことも起きるかもしれません。私にもそうした記憶があります。しかし、学年も違い、知り合いでも何でもない生徒に、そうした悪口をいう生徒がいるという話をきいてびっくりしました。

先日もこの通信で書きました。言葉は時に刃となり、人の心を簡単に引き裂くこともあるのです。自分が言われたり、されたりしていやなことは決してしない!なぜこんな簡単なことができないのでしょうか。ここは中学校ですよ。義務教育最後の学校なのですよ!と言いたい気持ちです。